

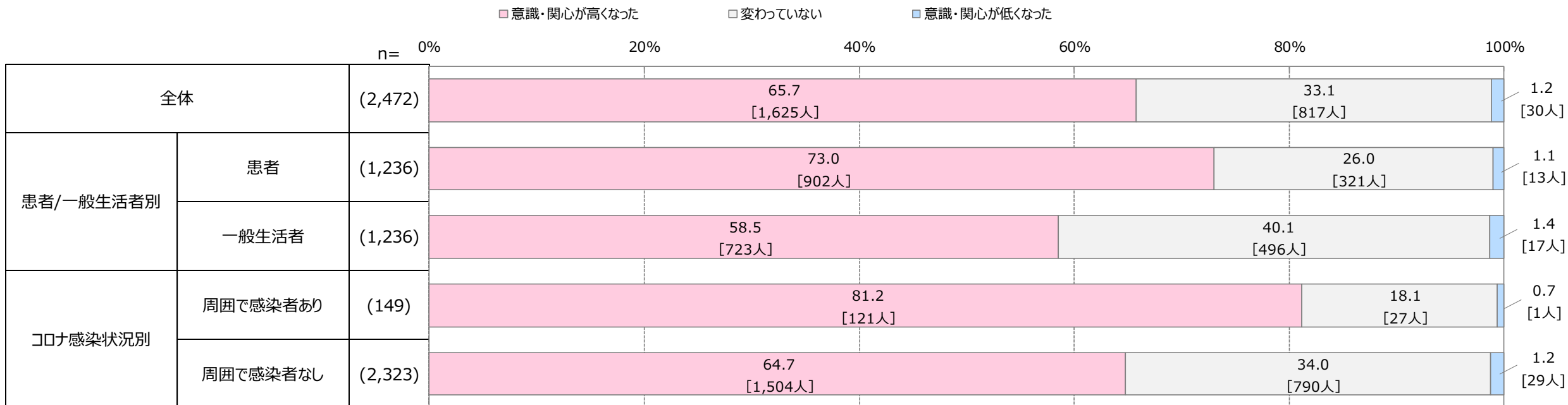
新型コロナウイルス感染症における 一般生活者・患者の健康・医療に関する意識・実態調査

2021年2月

新型コロナウイルスの感染症拡大を受けた 国民の医療に対する意識・関心

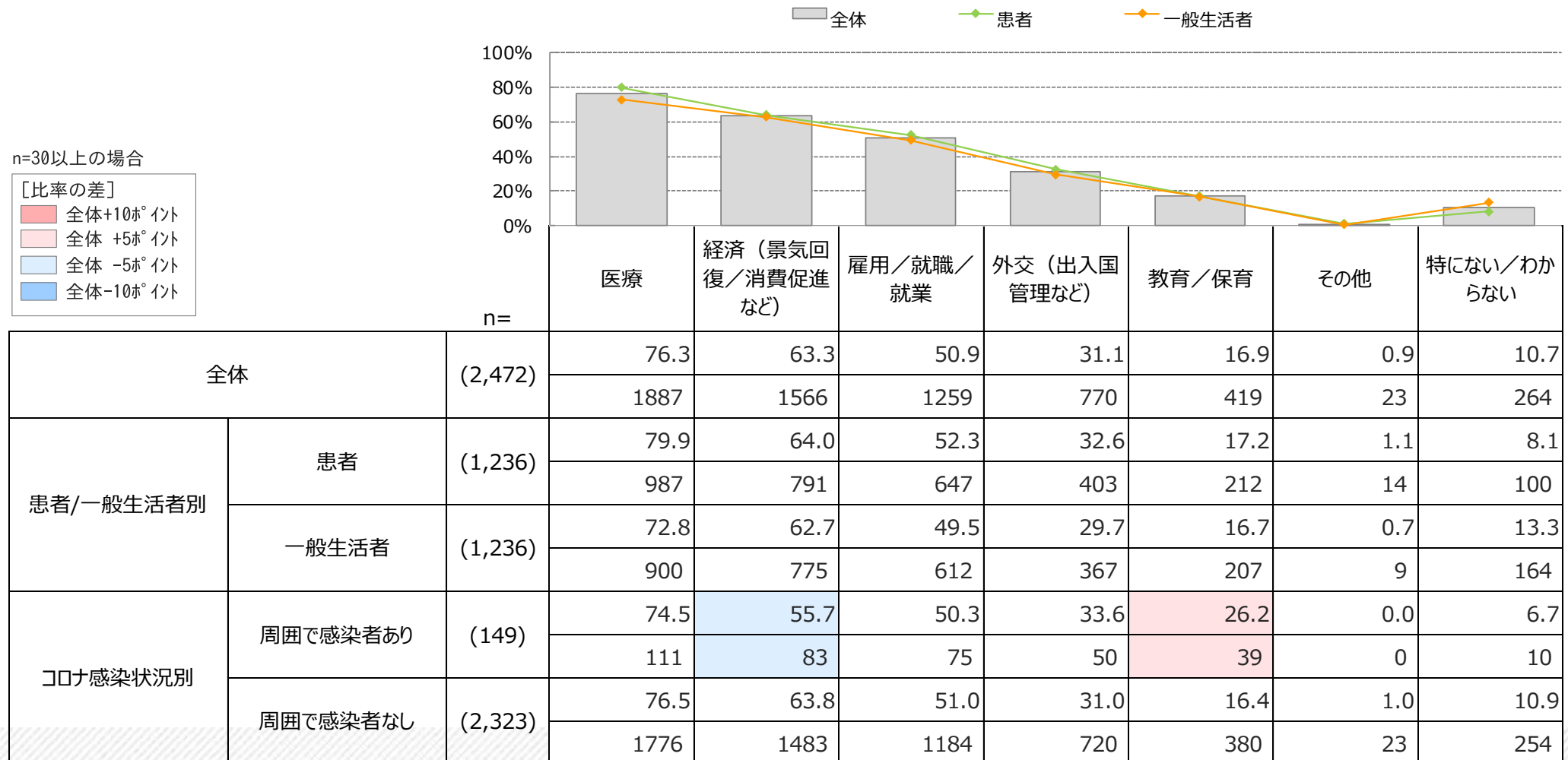
「新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、医療に対する意識・関心は変わりましたか」という質問に対し、全体の65.7%（1,625人／2,472人）が意識・関心が高くなったと回答しました。

そのうち、「自身や身近な人が新型コロナウイルス感染症にかかった」と回答した81%の人（121人／149人）と、「周囲に感染者がいない」と回答した人の64.7%（1,504人／2,323人）の人も「医療への意識・関心が高くなった」と回答しました。



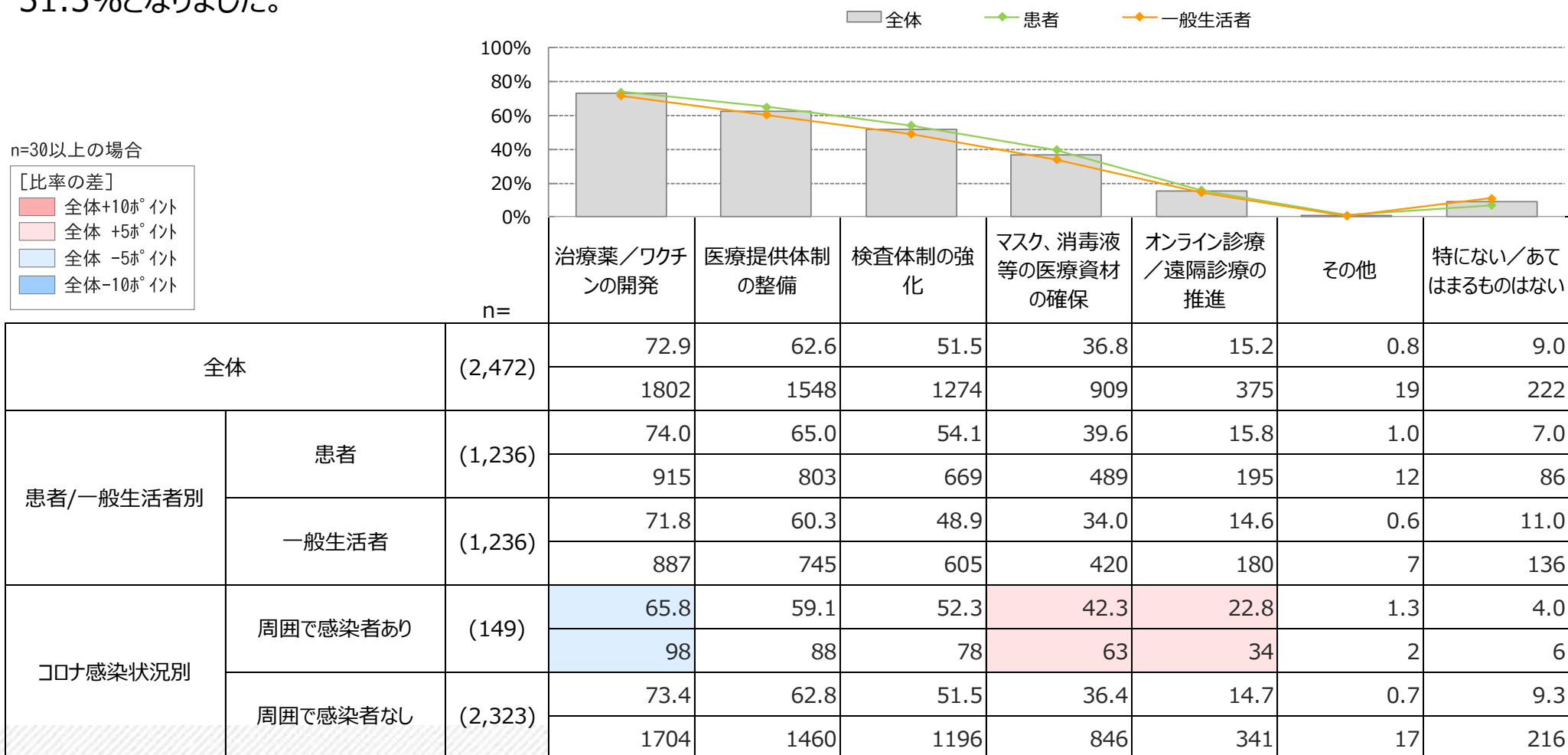
国や自治体が注力すべき新型コロナウイルス感染症対策

- 「日本において国や自治体が今、注力すべき新型コロナウイルス感染症の対策を上位3つまでお選びください」という質問に対し、最も多かった回答は、「医療」で76.3%となりました。



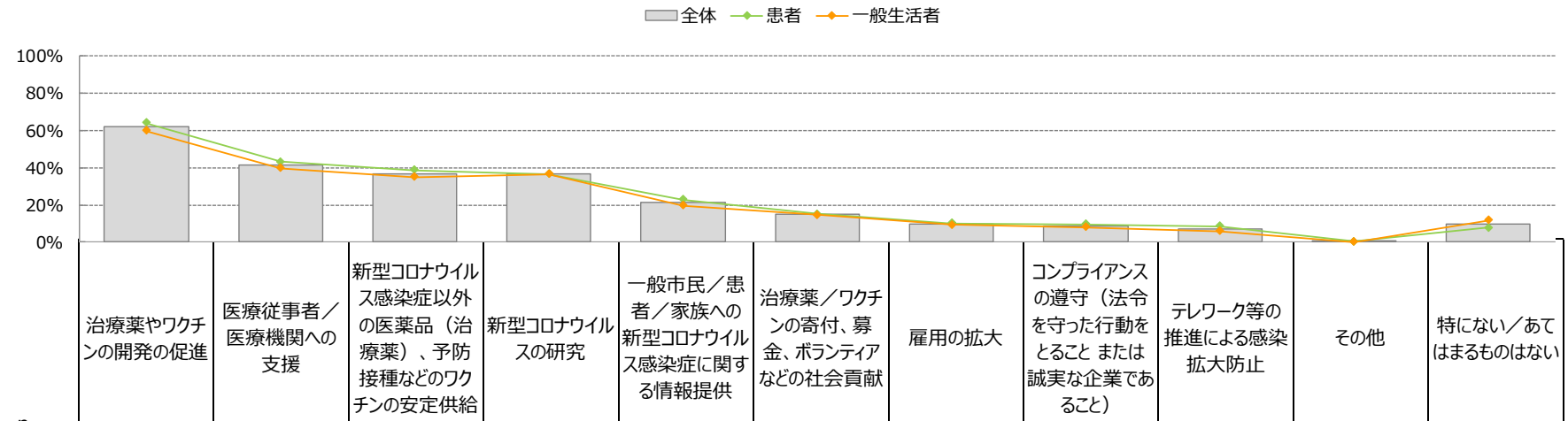
国や自治体が注力すべき新型コロナウイルス感染症対策

- 「医療分野の中で注力すべきことを上位3つまでお選びください」と質問したところ、「治療薬／ワクチンの開発」が最も多く、72.9%と、治療薬やワクチンへの期待の高さが見られました。次いで、「医療提供体制の整備」62.6%、「検査体制の強化」51.5%となりました。



コロナ禍の中で製薬企業に求めること

- 「新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために、製薬企業に求めていることを上位3つまでお選びください」と質問したところ、「治療薬やワクチンの開発の促進」が最も多く61.9%、次いで「医療従事者／医療機関への支援」41.3%となりました。



n=30以上の場合

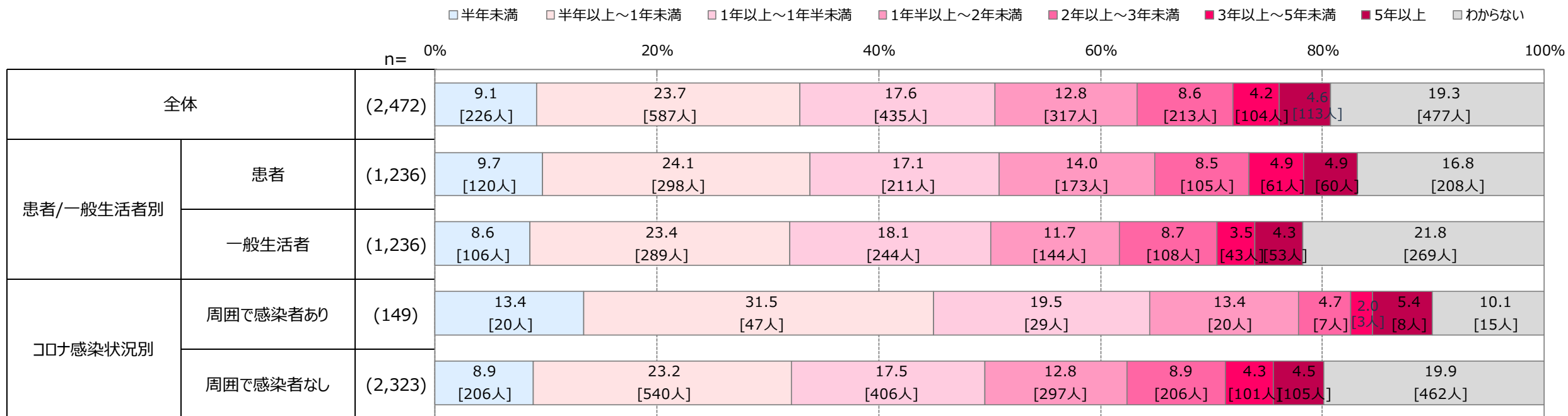
[比率の差]

全体+10ポイント
全体+5ポイント
全体-5ポイント
全体-10ポイント

		n=	治療薬やワクチンの開発の促進	医療従事者／医療機関への支援	新型コロナウイルス感染症以外の医薬品（治療薬）、予防接種などのワクチンの安定供給	新型コロナウイルスの研究	一般市民／患者／家族への新型コロナウイルス感染症に関する情報提供	治療薬／ワクチンの寄付、募金、ボランティアなどの社会貢献	雇用の拡大	コンプライアンスの遵守（法令を守った行動をとることまたは誠実な企業であること）	テレワーク等の推進による感染拡大防止	その他	特にない／あてはまるものはない
全体		(2,472)	61.9	41.3	36.7	36.6	21.2	14.8	9.7	8.8	7.2	0.3	9.7
			1529	1022	908	904	524	367	240	217	177	7	240
患者/一般生活者別	患者	(1,236)	64.0	43.0	38.5	36.6	22.9	15.0	10.1	9.5	8.4	0.4	7.8
			791	532	476	452	283	186	125	117	104	5	97
	一般生活者	(1,236)	59.7	39.6	35.0	36.6	19.5	14.6	9.3	8.1	5.9	0.2	11.6
			738	490	432	452	241	181	115	100	73	2	143
コロナ感染状況別	周囲で感染者あり	(149)	46.3	32.9	31.5	39.6	24.8	24.2	15.4	12.8	13.4	1.3	4.0
			69	49	47	59	37	36	23	19	20	2	6
	周囲で感染者なし	(2,323)	62.8	41.9	37.1	36.4	21.0	14.2	9.3	8.5	6.8	0.2	10.1
			1460	973	861	845	487	331	217	198	157	5	234

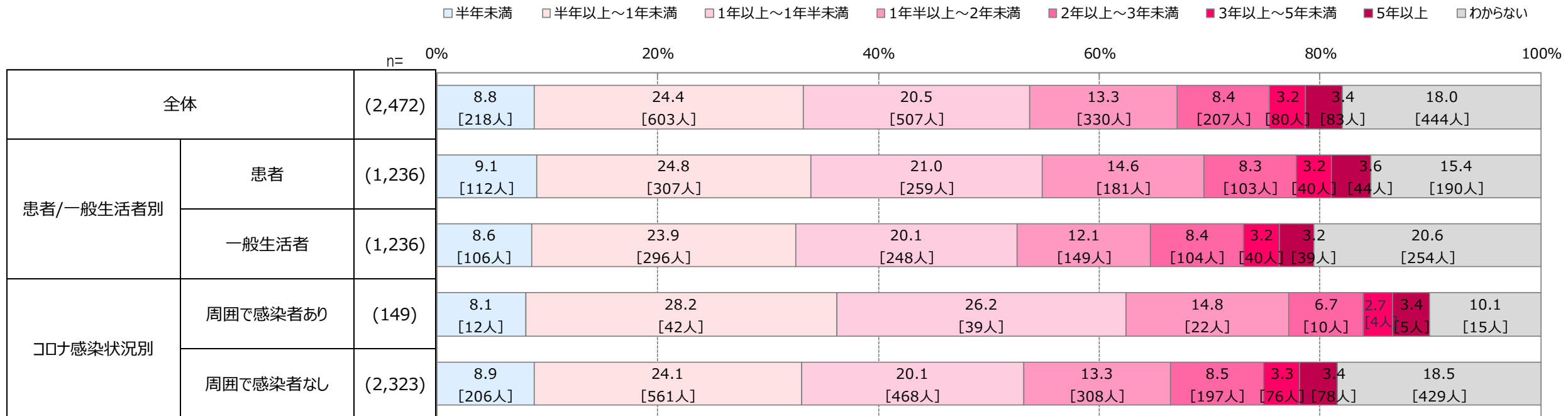
治療薬の開発への認識

- 「新型コロナウイルス感染症の治療薬の開発までに、あとどれくらい時間がかかりますか？」と質問したところ、治療薬に関しては、32.8%が「1年未満」に開発できると回答しました。



ワクチン開発への認識

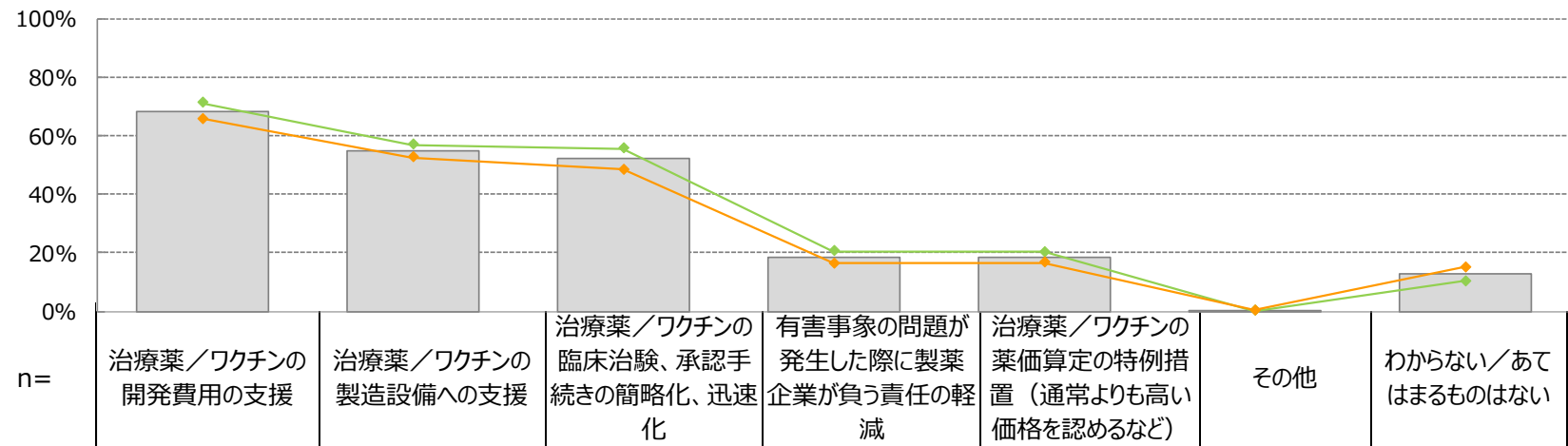
- 新型コロナウイルス感染症のワクチンの開発までに、あとどれくらい時間がかかりますか？と質問したところ、ワクチンに関しては、33.2%が「1年未満」で開発できると回答しました。



新型コロナウイルス感染症の治療薬／ワクチン開発の迅速化に必要な政策

- 「新型コロナウイルス感染症の治療薬やワクチンの開発を迅速化するために、医療政策において必要だと思うことを、上位3つまでお選びください」と質問したところ、最も多かったのが「治療薬／ワクチンの開発費用の支援」で68.5%、次いで「治療薬／ワクチンの製造設備への支援」54.8%、「治療薬／ワクチンの臨床治験、承認手続きの簡略化、迅速化」52.1%となりました。

■ 全体 ■ 患者 ■ 一般生活者



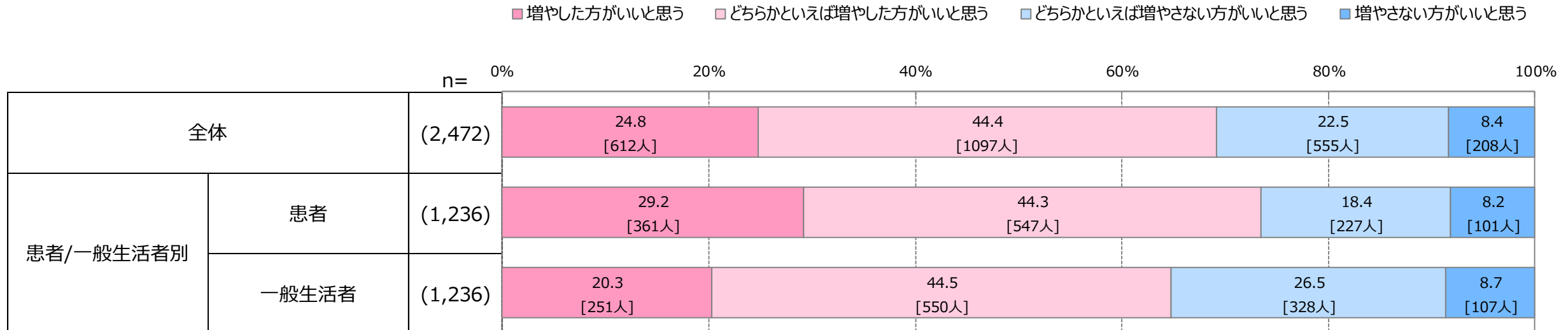
n=30以上の場合

【比率の差】
 ■ 全体+10ポイント
 ■ 全体 +5ポイント
 ■ 全体 -5ポイント
 ■ 全体-10ポイント

患者/一般生活者別	患者	一般生活者	n =						
			治療薬／ワクチンの開発費用の支援	治療薬／ワクチンの製造設備への支援	治療薬／ワクチンの臨床治験、承認手続きの簡略化、迅速化	有害事象の問題が発生した際に製薬企業が負う責任の軽減	治療薬／ワクチンの薬価算定の特例措置（通常よりも高い価格を認めるなど）	その他	わからない／あてはまるものはない
全体	(2,472)	(2,472)	68.5	54.8	52.1	18.5	18.4	0.3	12.7
			1693	1355	1288	458	455	7	315
患者/一般生活者別	患者	(1,236)	71.2	57.0	55.7	20.6	20.2	0.2	10.4
			880	704	688	254	250	3	128
患者/一般生活者別	一般生活者	(1,236)	65.8	52.7	48.5	16.5	16.6	0.3	15.1
			813	651	600	204	205	4	187

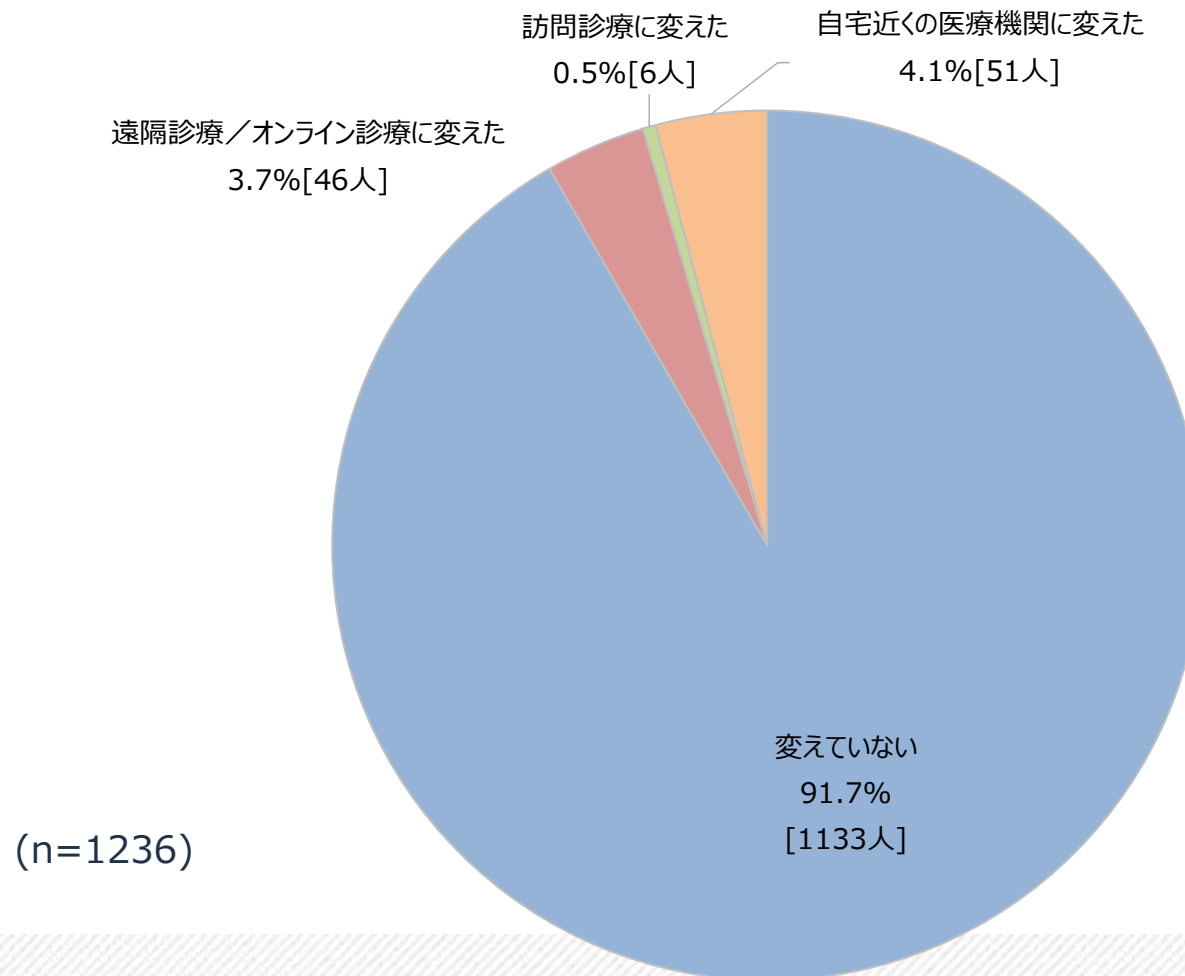
日本の医療にかかわる予算に対する考え

- もし、国民の負担が多少増えたとしても、日本の医療予算は全体的に増やした方がよいかという質問に対し約7割の人が医療にかかわる予算を増やした方がよいと考えている結果となりました。



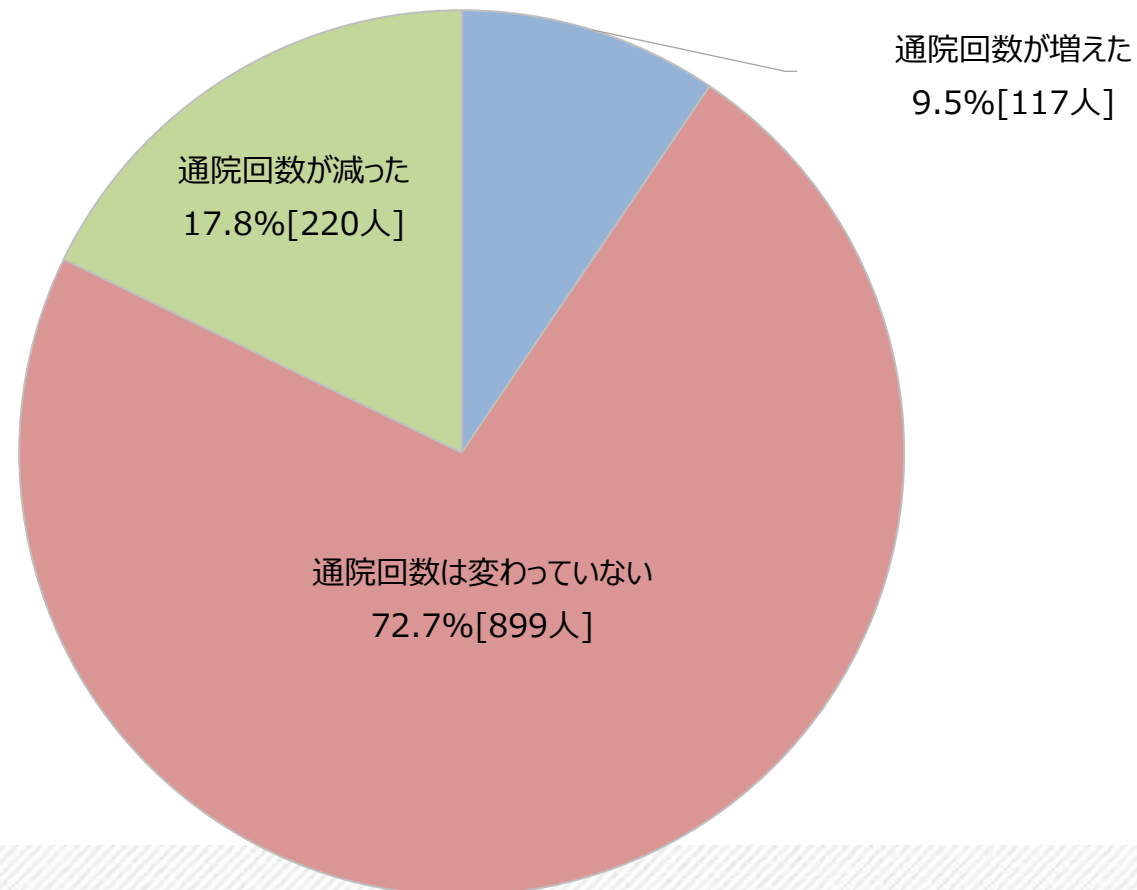
コロナ禍における通院方法の変化（患者さん対象）

- 患者さんに対して、「新型コロナウイルス感染症が感染拡大してから、ご自身の通院方法に変化はありましたか？」と尋ねたところ、「変えていない」と回答した人が9割以上を占めました。



新型コロナウイルスの感染拡大を受けて 通院回数の変化

- 患者さんに対して、「新型コロナウイルス感染症が感染拡大してから、ご自身の通院回数に変化はありましたか？」と質問したところ、「変わっていない」と回答した人が72.7%と大半を占め、「減った」と答えた人は約2割でした。

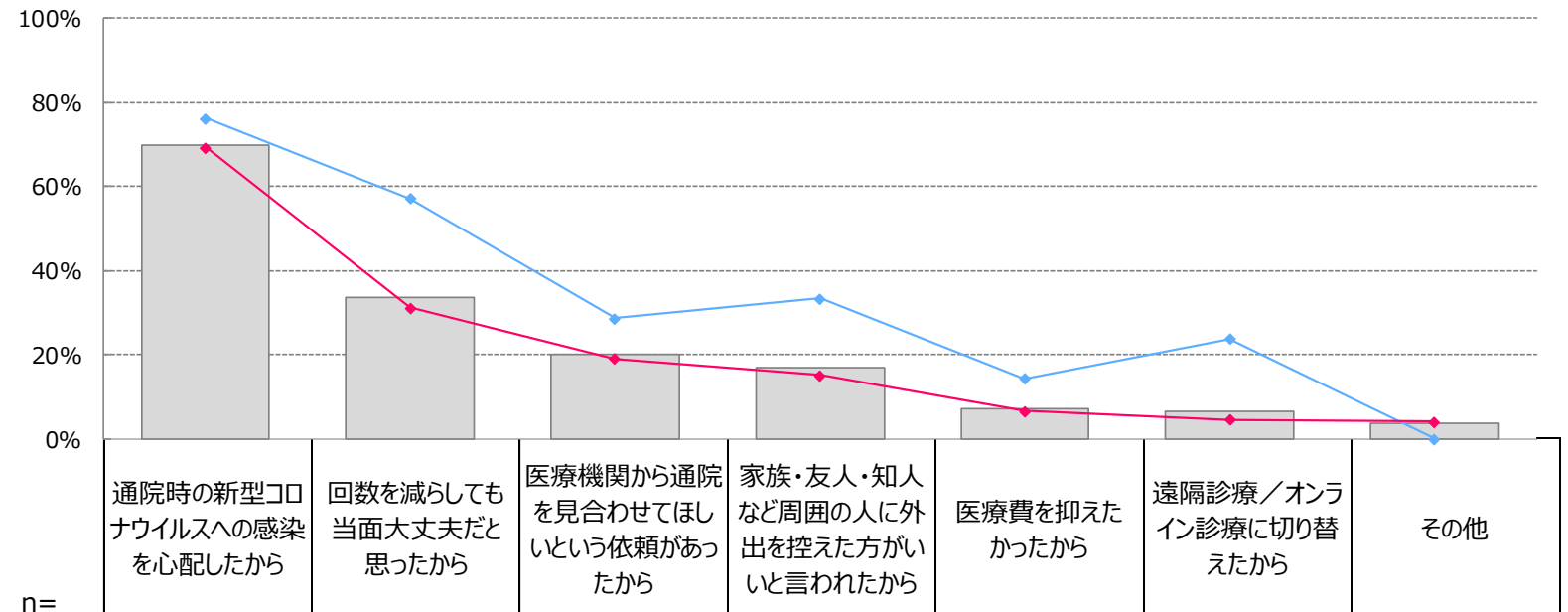


(n=1236)

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて 通院方法の変化

■ 新型コロナウイルスの感染拡大後、通院回数が減ったと回答した人の理由。

■ 全体 ◆ 周囲で感染者あり ◆ 周囲で感染者なし



n=		全体 (220)	周囲で感染者あり (21)	周囲で感染者なし (199)
全体		70.0	76.2	69.3
		154	16	138
コロナ感染状況別	周囲で感染者あり	76.2	57.1	28.6
	周囲で感染者なし	31.2	19.1	15.1
		33.6	57.1	31.2
		20.0	28.6	19.1
		16.8	33.3	15.1
		7.3	14.3	6.5
		6.4	23.8	4.5
		3.6	0.0	4.0